

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成30年2月1日(2018.2.1)

【公開番号】特開2015-112497(P2015-112497A)

【公開日】平成27年6月22日(2015.6.22)

【年通号数】公開・登録公報2015-040

【出願番号】特願2014-252225(P2014-252225)

【国際特許分類】

A 6 1 B 17/00 (2006.01)

A 6 1 M 1/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 17/00 3 2 0

A 6 1 M 1/00 5 0 0

【手続補正書】

【提出日】平成29年12月12日(2017.12.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

吸引ポンプおよびチャンバを収容するハウジングと、

前記チャンバと流体連通する収集バッグと、

前記チャンバに連結された第1チューブ部分を備えたチューピングアセンブリと、を有し、該チューピングアセンブリは、前記第1チューブ部分を第2チューブ部分および第3チューブ部分に分枝するコネクタを備え、前記第2チューブ部分は、第1カテーテルと流体連通していて該第2カテーテルを通る粒子を吸引し、前記第3チューブ部分は、第2カテーテルと流体連通していて該第2カテーテルを通る粒子を吸引することを特徴とする吸引システム。

【請求項2】

前記コネクタは、前記第1チューブ部分の入力端に連結されかつ前記第2チューブ部分の出力端および前記第3チューブ部分の出力端に連結されたT-フィッティングを有していることを特徴とする請求項1記載の吸引システム。

【請求項3】

前記チャンバは、粒子を受入れる入力ポートと、吸引された粒子を前記チャンバから前記収集バッグ内に搬送する出口ポートと、を有していることを特徴とする請求項1または2記載の吸引システム。

【請求項4】

前記収集バッグは、前記ハウジングのベースの下で実質的に平坦化された状態で輸送されることを特徴とする請求項1～3のいずれか1項記載の吸引システム。

【請求項5】

コントローラを更に有し、前記収集バッグ内の背圧が所定値を超えると、前記コントローラが信号をポンプに伝送して前記ポンプを停止させることを特徴とする請求項1～4のいずれか1項記載の吸引システム。

【請求項6】

前記収集バッグが充満されたことを使用者に表示するインジケータを更に有することを特徴とする請求項1～5のいずれか1項記載の吸引システム。

**【請求項 7】**

非導電性の輸送用タブを更に有し、該輸送用タブは、回路を完成してポンプの作動を可能にすべく取外すことができる特徴とする請求項1～6のいずれか1項記載の吸引システム。

**【請求項 8】**

前記第1チューブ部分の少なくとも実質的部分が、輸送中に前記ハウジングの前記ベースの下に置かれることを特徴とする請求項1～7のいずれか1項記載の吸引システム。

**【請求項 9】**

前記収集バッグは、輸送中に、前記第1チューブ部分の一部の下に置かれることを特徴とする請求項1～8のいずれか1項記載の吸引システム。

**【請求項 10】**

前記第2チューブ部分に連結された第1弁および前記第3チューブ部分に連結された第2弁を更に有し、前記第1弁および前記第2弁は、流体がそれぞれのチューブ部分を通って流れることができるように選択的に作動できることを特徴とする請求項1～9のいずれか1項記載の吸引システム。

**【請求項 11】**

ポンプと、該ポンプに給電する電源パックと、身体から吸引した粒子を搬送するチューピングアセンブリと、吸引された粒子を受入れる収集バッグと、を有し、前記ポンプが、チューピングを通して粒子を吸引しつつ吸引された粒子を前記収集バッグ内にポンピングすることを特徴とする使い捨て可能な滅菌吸引キット。

**【請求項 12】**

前記ポンプおよび電源パックは、頂部分およびベースを備えるハウジングに置かれ、輸送形態で、前記チューピングアセンブリは、巻回形態に巻かれる第1チューブを備え、前記第1チューブの少なくとも実質的部分が前記ベースの下に置かれることを特徴とする請求項11に記載の滅菌吸引キット。

**【請求項 13】**

前記収集バッグは、輸送形態で前記第1チューブの実質的部分の下に置かれることを特徴とする請求項11または12記載の滅菌吸引キット。

**【請求項 14】**

前記チューピングアセンブリは、各々が前記第1チューブと連通する第2チューブおよび第3チューブを含み、前記第1チューブは、前記第2チューブおよび前記第3チューブに別々に連結されるためのスプリットコネクタを有していることを特徴とする請求項11～13のいずれか1項記載の滅菌吸引キット。

**【請求項 15】**

前記第2チューブに連結された第1弁および前記第3チューブに連結された第2弁を更に有し、前記第1弁および前記第2弁は、それぞれ、流体がそれぞれのチューブを通って流れることができるように選択的に作動できることを特徴とする請求項14記載の滅菌吸引キット。

**【請求項 16】**

前記ハウジングは、チャンバを含み、前記チャンバは、粒子を受入れる入力ポートと、吸引された粒子をチャンバから収集バッグ内に搬送する出口ポートと、を有しており、前記ポンプは付勢されて、粒子を前記ハウジング内の前記チャンバ内に吸引しつつ吸引された粒子を前記チャンバから前記チューピングアセンブリを通して前記収集バッグ内にポンピングすることを特徴とする請求項11～15のいずれか1項記載の滅菌吸引キット。